



ドイツ ドレスデン

地域包括ケアにおける老健の役割

— 過去・現在・未来を通して —

公益社団法人群馬県老人保健施設協会 理事長 矢島 祥吉

① 1970年に高齢化率は7%で、日本は高齢化社会になりました。

この時代は、脳卒中を中心として「寝たきり」の方々が60万人と言われました。私は1976年に開業し、「寝たきり」の方々の家に往診していました。「寝たきり」の方々の多くは家の納戸という部屋に寝かされていました。田植えや稲刈りの時には、「寝たきり」の方々はほとんど床づれだらけでした。患者さんから「先生、殺してくれ。」とよく言われました。十分な対応ができず、申し訳なかったです。

そんな中で広島県の山口先生たちは「寝たきり0作戦」をやっていたので、私は先生のところに見学に行きました。「地域包括ケアシステム」と名付け、山口先生たちは医療と福祉を連携することで大きな成果をあげていました。これらの実績を基に1988年老人保健施設がスタートしました。

② 1994年に高齢化率は15%を突破し、高齢社会になりました。

1995年、「高齢者の自立支援を基本理念とする新たな高齢者制度の創設の提言」が社会保障審議会より勧告され、1997年に国会で介護保険法が成立。2000年4月に介護保険制度がスタートしました。

③ 2007年に高齢化率は21%で、超高齢社会になりました。

この40年間で超高齢社会になったのは世界でも初めてであり、さらに高齢化は進んでいます。1964年の東京オリンピックの時は、75歳以上が163万人でしたが、現在では1646万人で、10倍に増えています。今年度末には、これまでの療養病床が廃止され、新類型の施設が予定されています。老健に於ける医療の役割をもっと充実させなければいけないと思っています。

④ 2040年に向けて

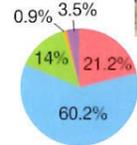
私たちは2025年に向けて、全力を挙げて地域包括ケアシステムの構築を目指して地域の人達と共に対応していきますが、2025年はスタートの時期で、2040年まで地域包括ケアシステムをしっかり維持しなければなりません。高齢化はさらに進み2040年には第1号被保険者数が第2号被保険者数より多くなります。

ともかく、デンと構えて、地域の医療、介護の皆さんと共に焦ることなく日々の老健の役割を果たしていきましょ。

大会情景とご意見

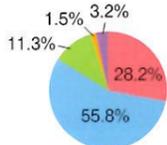
■とても良い ■普通 ■未回答
■良かった ■悪かった

□演発表



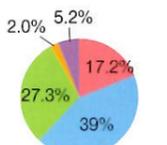
- 「・・・で、その結果どうなったの？」と思う内容が多く、中途半端なまま終わってしまったのが少々残念に感じました。(第6会場)
- 身近にある課題に添ったテーマの発表が多く、興味深く聞かせていただきました。
- 地域包括ケアシステムにて老健が重要な役割を示さなければ老健の存続は難しいと感じた。

ランチョンセミナー



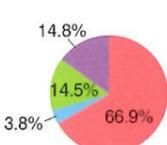
- 専門的な知識をわかりやすく学ぶことができました。(第6会場)
- 介護職でも取り入れられる事があったので、現場で話し合う時間を作りたいと思った。(第8会場)
- 希望した会場が定員オーバーで入場出来なかった。(第6会場)

展示ブース



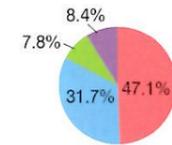
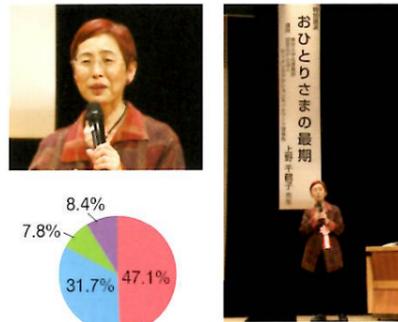
- 普通使っている栄養食品のほかにも他社の様々なサンプルや資料をいただき参考になった。
- 立位時自動ブレーキがかかる車椅子が見たかったので、実際乗車も出来て良かった。
- 低床タイプベッドがとても興味深いものだった。

今大会のテーマは「地域包括ケアにおける老健の役割」でしたが参考になりましたか？



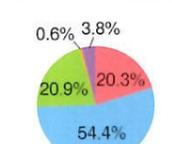
- 参考になった ■参考にならなかった
- どちらでもない ■未回答
- 大会としての一定の結論を出す工夫がほしい。
- 多職種連携の必要性が理解できた。
- 一般的な発表で、地域包括に特化していたとは思えない。

特別講演



- ガン患者の在宅看取り死がほぼ100%と聞いて驚きました。入所中のご利用者様は家に帰りたがる方が多いので、これから在宅での看取り死が一つの選択肢に入るといいなと思いました。
- 話がとても聴きやすく、難しい「おひとりさまの最期」に関する考えを前向きに聞くことができました。
- 在宅でも死ぬ環境設定。利用者が生きる場所を選び、生きる力を持って生活できるような支援がしたいと思った。

全体の雰囲気



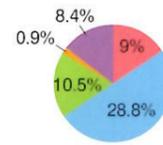
- どの施設もそれぞれ特色があり熱心に研究している様子が分かりました。
- 口演終了後、質問の質が以前より高かった。
- 会場内が環境整備されていて、きれいで居心地が良かった。

その他

- 私たちの活躍は今後の日本の高齢化に大きな影響を与えるのだと改めて身の引き締まる思いです。
- これから日々の業務で知識と技能を身につけ、このような発表が出来るようになります。

第26回 群馬県老人保健施設大会

ポスター発表



- 人数も少なくやりやすい環境でした。少人数で行う方がより良い話や意見交換ができたと思いました。
- 写真等の資料が多く理解しやすかった。
- 時間になったら演者が立ち、見に来た人と個別でディスカッションの方が質問もしやすいのではと思いました。

永年勤続表彰



交流会



今大会で良かった点

- ランチョンセミナーがとても分かりやすかったです。
- スタッフの動きが良かったと思います。
- 老健の在り方を色々な視点から考えることができ、とても参考になりました。

今大会で悪かった点

- 会場がわかりづらく、場所が離れており移動に時間を要した。(ランチョンセミナーの場所も分かりづらい)
- ランチョンセミナーでは、詰めて座るよう声掛けがあった方が良かった。
- 会場のドア近くにいるスタッフの私語があり、発表に集中できない時があった。

施設大会はいかがだったでしょうか



大会長 介護老人保健施設 太陽 施設長 富塚 正

第26回群馬県老人保健施設大会が無事に終わりました。高崎音楽センターをメイン会場にして開催されました。テーマは「地域包括支援システムに対する老健の役割」でした。老健は在宅介護支援に力を入れています。施設の中にも、在宅で生活するにしても、日常生活動作をなるべく自分の力でやって、生きていくことを楽しみ、また、ご家族が介護をする負担を減らしてあげることで、在宅支援に大いに役に立ちます。口演発表やポスター発表は、リハビリ、生活の工夫、レクリエーションなど、内容はすべて在宅でご本人と家族がハッピーになれるようにと考えたものでした。

特別講演では東大名誉教授の上野千鶴子先生の「おひとりさまの最期」というお話がありました。一人で最後まで自宅で過ごすことをテーマにしました。医療・介護が連携して、介護の必要な人を最後まで見ていくことが求められますが、システムの構築には、まだ問題がたくさんあります。今後研究を続け、老健は世の中の介護を主導していきます。協力していただいた各施設の運営委員の皆さん、発表された皆さん、ありがとうございました。

役所に相談したいこと(Ⅱ)

「情報は玉石混濁」

昨年末に不愉快な出来事がありました。インターネットで公開されていた健康情報サイトの情報の大半が何の根拠もないお粗末な素人の作文だったというものです。そのサイトが閉鎖されたことは言うまでもありません。

インターネットだけではなく、世の中には膨大な情報が溢れています。すべてが真実ならばいいのですが、それらの中には根拠や裏付けが曖昧なもの、果てはデタラメや故意の偽情報まであつたりします。正に情報は玉石混濁です。

「確かな情報を得るには」

前号で「役所に相談したいこと(Ⅰ)」と題して記しましたように、介護保険に関することは役所に尋ねることがいちばん確実です。なぜなら、介護保険を運営している保険者は市町村だからです。

そのため、同じ制度なのに市町村によっていくつかのことについて差異が生じることもあります。例えば、年収が同じ人でも隣の市町村とは保険料が月額千円ほどの差があつたり、同じサービスを同じ量だけ利用していても支払額が月額百円ほど異なつたりすることもあり得ます。もちろん、高い安いが良い悪いと関係するものではありません。

介護保険制度は介護保険法という国が定める法律で大枠が決められていますが、具体的な運営については市町村が定める条例というものに任されている事柄がいくつもあるため、このような違いが出てくるわけです。ですから、自身の住所地の役所に相談することが最も適切です。

よく餅は餅屋と言いますが、地元のお餅屋さんが確かで信頼できるわけです。しかも市町村が実施主体である「地域包括ケアシステム」は、現在進行形で構築されつつありますので、今後は地元市町村の情報を得ることが益々重要になってきます。

「申請することの大切さ」

確かな情報が得られたら、活用してこそ意味があります。そこで気をつけたいのは申請主義と呼ばれることです。

小学校の入学通知書や税金の納税通知書は、誰かに何か相談したり頼んだりしなくても役所から送られてきます。それは教育や納税は憲法に定められた義務だからです(もちろん別に法律として定められています)。義務的なことは就学年齢に達したり所得があつたりというように、その状況や事態が発生した際に自ら申請することなく、役所などから通知されて必要な手続きなどを促されます。

一方で権利を行使しようとする際は、自ら申請したり出向いたりしなければなりません。何の手続きもしないでいれば、80歳になつても年金が支給されるわけはありませんし、失業しても失業保険は受けられません。選挙でも投票所入場券こそ黙っていても届きますが、投票するには出向いての手続きが必要なんです。

介護保険制度では申請に基づく届出や手続きが介護サービスを受けるため以外の事も含めて多種多様にあります。さらには届出が義務になつていることもあります。しかも、すべてが一律というわけではないため申請を忘れたら大いに困ることもありますから、「厄介なこと」と表現しても過言ではないでしょう。

申請のことも含めて、何事につけ居住している市町村の役所に、尋ねたり相談したりすることが確実に大切なことと言えるでしょう。

介護老人保健施設若宮苑 副施設長

安藤 繁

施設の「空床情報」等、協会HPへ掲載しています。是非ご覧ください。

<http://www.gunma-roken.jp/>

あしがき

T 梅が香り春もせつすべそ(そ)まで来ています。待ち遠しいな♡

Y 上州名物、からっ風の季節です。飛ばせられないよう頑張りましょう。

S 毎日毎日寒いですが、春はすべそ!!頑張りましょう!!!

協会・事務局コーナー

協会行事予定

- 2月**
 - 10日(金) 看護・介護職員研修 基礎講座
 - 15日(水) 代表委員会
 - 22日(水) 臨時理事会
 - 25日(土) 栄養担当職員研修会
- 3月**
 - 15日(水) 臨時理事会
 - 15日(水) 臨時総会
 - 24日(金) 「介護助手」養成モデル事業成果報告会
 - 29日(水) 在宅復帰率強化に向けた研修会
 - 31日(金) 作品展実行委員会
- 5月**
 - 17日(水) 19日(金) 西毛ブロック作品展
 - 17日(水) 19日(金) 東毛ブロック作品展
 - 17日(水) 19日(金) 北中毛ブロック作品展
 - 代表委員会
 - 24日(水) 通常理事会
- 6月**
 - 14日(水) 臨時理事会
 - 14日(水) 定時総会
- 11月**
 - 11日(土) 施設大会
 - 15日(水) 通常理事会
 - 24日(金) 管理職等職員研修会